



衣川 良介

## 『傷ついた梵鐘たち』

あれ！穴がある。どうしてなんだろう？『たたらの里 ちくさ』という本、昭和時代の戦争と鉄の項目に4ケの丸い穴を持つ梵鐘の写真が掲載されていました。（画像右）説明文には『れんげ寺（姫路市夢前町杉之内）昭和19年供出、側面に材質検査のためのドリル穴が4ケあいている。戦後、もとの寺へもどり、受難の歴史と平和の尊さを訴え続けている』詳細については7月号に記載しました。

『夢通信』の次のテーマを『梵鐘と播磨の鋳物師』にしようという資料を集めている最中に穴あき梵鐘の事を知りました。代表的な播磨の鋳物師は芥田五郎右衛門で戦国時代の末期から鋳物師として鍋釜、各種金物、梵鐘も作り、代々五郎右衛門を襲名しました。明治期に鋳物の製造を終えられましたが、今も第17代の芥田博司氏が大量の『芥田家文書』を保管されています。

芥田家は同業者か、配下か？田中家、小野家、尾上家と強い協力関係にあり多くの梵鐘を協働で製作しました。最も有名なのは京都方広寺の大梵鐘の製作に脇統領の一人として活躍した事です。どれほどの梵鐘を製作されたのかは分かりませんが、現存するものは20口ほどです。

穴あき梵鐘に強い興味を覚えました。蓮花寺を訪れると共に、穴あき梵鐘のことを調べられた戦争遺跡研究会（愛知県東海市）名古屋市在住の清水（きよみず）啓介氏に電話、作成された寺院等のリストの送付をお願いしました。彼は数年かけて中部、近畿、中四国の各地を調査し、京都や大阪、奈良など7府県で穴あき梵鐘を47口確認されています。

蓮花寺訪問の後、製銅遺跡などに詳しい神崎勝先生（兵庫県多可郡住；妙見山遺跡研究会）に穴あき梵鐘の話をする、黒田庄町（現、西脇市）田高（たこう）の〇〇寺の梵鐘も穴があいていたよ。と教えて頂きました。インターネットで調べてもそれらのお寺は見あたりません。そこで、西脇市教育委員会にメールを送りました。『穴あき梵鐘のことを調べています。姫路の衣川と言います。・・・』

西脇市郷土資料館の菅澤様から丁寧な回答を得ました。1. 円福寺の梵鐘（明治期に廃寺）現在は黒田庄町田高の春日神社の鐘楼にある事（円福寺は春日神社の別当寺）。2. もう一口、住吉神社（西脇市比延（ひえい）町字前田）にも穴あき梵鐘がある。一部梵鐘の銘文も添えてありました。

6月13日西脇市の、春日神社と住吉神社に行き穴あき梵鐘の写真を撮影しました。二口の梵鐘は共に芥田家の関連梵鐘でした。3件の穴あき梵鐘の情報を清水様のリストに加えて頂きました。

今後も梵鐘のことを記してゆきます。穴あき梵鐘や古い梵鐘、いわれのある梵鐘の情報がございましたらお教えてください。



**『鉄のふしぎ博物館』**



夏休みには  
ぜひ遊びに来て下さい

おみやげもあるよ！  
砂鉄・ぱっくんワニ  
海岸の砂（含む砂鉄）

入館無料 **予約必要**  
開館時間 9:00～17:00

詳しくはインターネットで検索

『鉄のふしぎ博物館』

**むらの鍛冶屋**®



何でもお気軽にお尋ねください！！